

まちづくりアイデア[💡]

～町全体を野外美術館へ～

提案者 日の出町立平井中学校 1年C組 六班桜菜

～町全体を野外美術館へ～

日の出町立 平井中学校 14C組 六笠桜葉

1 はじめに

私達の住む日の出町は、豊かな自然や森林資源があります。しかし、近年は、人口の減少、高齢化、空き家の増加といった課題を抱えています。

本レポートでは、地域資源を活用しながら、町をより活性化させるための方法として、

1. 地元木材を活かしたワークショップと木工製品の町中展示と野外美術館

2. 空き家や空き店舗の活用

3. 地元小中学生によるSNS発信

の3つを提案します。

2 提案内容

2-1 地元木材を活かしたワークショップと木工製品の町中展示と野外美術館。

日の出町の森から採れる木材を使い、木工教室やクラフト体験を開催します。参加者は、観光客や親子連れを想定して、週末や長期休暇中に実施します。

作った作品は持ち帰るだけでなく、町の広場や町の店舗に展示し、町全体を野外美術館のように演出します。そして、年に一度、コンテストを開催して、町に飾りたい作品を地域の人達で選び、上位に輝いた作品を展示する事しても良いかもしれません。

2-2 空き家や空き店舗の活用

町内に増えている空き家や空き店舗を、改修してミュージアムカフェのようにして、展示を鑑賞したり、ワークショップの開催場や、町内外の交流の場にしても良いと思います。

他にもカーデニングコンテストとしての場所に活用、リモートワークの拠点にもなります。

2-3 小中学生によるSNS発信

日の出町の小中学生が授業の一環として町の魅力をSNSで発信します。

観光スポットや、ワークショップ等の活動の様子などを写真や動画で紹介し、若い世代ならではの視点で町をアピールします。

3 期待される効果

- 1. アート作品の展示による町並みの魅力の向上
- 1. 観光客の滞在時間の延長と経済効果
- 1. 空き家の有効活用による地域の安全性、景観改善
- 1. 小中学生のSNSのマナーモラルの向上と、地元への理解度の向上

4 課題と解決策

それらを行うためには、いくつかの課題があります。

- ・お金、人手・続ける力
です。

この3つの課題の解決策は、既存のイベント、日の出産業まつり等とタイアップすることです。コンテストも周知でき、広告費の節約、また、実績のあるイベントに参加することにより、継続しやすくなる。資金面も、参加費や協賛企業寄付、町の予算、助成助等を活用。また、地元企業からの廃材等、提供していただく。

5. まとめ

日の出町は私達の住む場所です。皆が日々楽しい、この町にずっといたい、と思えるような町づくりを提案させていただきました。私は日の出町は最高の町であってほしいと思っています。そして、私はアートが大好きなので、日の出町にそういったものを取り入れてほしいと思いました。町中にアートがあると、気分も上がると思います。

6 参考資料

日の出町ホームページ
広報 ちのび 2025 8月
日の出町1年フレッツ
大久野イルミネーション

<調査>

- ・アートが好きな友達が多かった
- ・学校美術館めぐりが好き
- ・楽しみたい。という意見(日の出町で)